

令和4年度 学校法人藤枝学園事業報告書

自 令和4年4月1日至 令和5年3月31日

I 学校法人の概要

1 目的

学校法人藤枝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教の教義に基づき学校教育を行う。

2 設置学校及び生徒園児在籍状況

(1) 設置学校

ア 藤枝順心高等学校

全日制課程、普通科、調理栄養科（調理師養成課程）、美術造形デザイン科

イ 藤枝明誠高等学校

全日制課程、普通科、英数科

ウ 藤枝順心中学校

エ 藤枝明誠中学校

オ 藤枝順心高等学校附属幼稚園

(2) 生徒園児在籍状況（令和4年5月1日現在）

学 校 名	在 籍 合 計 (人)
藤枝順心高等学校	4 1 6
藤枝明誠高等学校	1, 0 5 1
藤枝順心中学校	4 5
藤枝明誠中学校	2 1 5
藤枝順心高等学校附属幼稚園	3 3 0
学校法人計	2,0 5 7

3 役員・教職員の状況

(1) 役員（令和5年3月31日現在）

理事 7人

理事長 仲田晃弘

理事 戸田雪子

理事 青島克郎

理事 仲田 務

理事 松田真彦

理事 甲賀美智子

理事 内山知三

監事 3人

監事 畑 正規

監事 森下登志美

監事 加藤友夫

(2) 役員会開催状況

ア 令和4年5月24日(火)

イ 令和4年10月25日(火)

ウ 令和4年1月26日(木)

エ 令和5年3月23日(木)

(3) 教職員の状況(令和4年5月1日現在)

区 分	人 員	備 考
管理職	11人	教育職9 事務職2
幼稚園・中学校・高等学校教員	115人	除 教育職管理職員9人
非常勤講師	102人	
事務職員	22人	除 事務職管理職員2名
非常勤事務職員	5人	
合 計	255人	

II 事業概要

1 令和4年度経営方針

学園創立の精神である仏典修証義「第4章発願利生」の一節にある「自未得度先度他」の教えを基軸として、藤枝順心中学校・高等学校、藤枝明誠中学校・高等学校、藤枝順心高等学校附属幼稚園がそれぞれの特性を十分発揮することにより、地域に密着し、地域に愛され認められる教育活動を展開するよう取り組む。

藤枝順心中学校・高等学校においては、校訓である「自覚」を、人として備えるべき条件、あるいは資格、そして、自立するための学びであり、常に忘れず、怠らず励むこととして目指し、「梅、寒苦を経て清香を発す」という白梅精神「清楚・芳香・忍耐」を教育目標に掲げて、「女性の自律・自主と先度他の心の涵養」を願いとして女子教育に取り組む。

藤枝明誠中学校・高等学校では、校訓「初心忘るべからず」に従い、初学の志、創建の心を守り、学びの中道、物事の中途において常に反省に立ち、初一念の振起につとめている。

また、学園の綱領に基づく教育活動により、知・徳・体を錬成し調和ある人間像を確立することを教育目標としている。

藤枝順心高等学校附属幼稚園においては、創立者の教育方針「強く、明るく」の精神を踏まえて、幼児一人一人の発達の特性に応じ、環境とかかわらせながら幼児教育にふさわしい生活体験を通じて、心身ともに健やかな成長発達を図ることを目指して教育活動を推進する。

教育目標を「豊かな心とたくましい体をもった子」として、思いやりのある子、がんばりのきく子、挨拶のできる子を育てる。そのため、以下を実践する。

- ・ 子どもの理解に努め、一人一人の発達特性や個に応じた指導をする。
- ・ 様々な経験を通して、環境への関心を高めていく保育を進める。
- ・ 社会の変化や地域の要請に応え、保護者との連携を密にして保育を進める。
- ・ 小学校教育との結びつきを図るため、地域の小学校との連携を進める。

2 各部門の事業概要

(1) 藤枝順心中学校

学習と部活動において、中学校教育から高等学校教育へとスムーズに移行する中高一貫教育を通して、本校のエレガントプランを体現した生徒を育成する。中学3年間を前期課程として、5教科を中心に学習習慣の定着を図りつつ、総合学習の「茶道」など、本校独自のカリキュラムを通して「和」の精神と美しい挙措を学ぶ。高校3年間の後期課程を見据え、国際的視点を持った女性リーダー育成を目標として、英語授業では(ネイティブ講師を含む)チームティーチングを実施し、生徒の学習を多面的に支援している。

同じ階で生活する高校生の先輩を手本としながら、学習・部活動ともに励むことができる環境が整っている。

○ 部活動の実績

バスケットボール部

県中学校総合体育大会 ベスト32

柔道部

東海中学校総合体育大会 団体の部 第2位

同 個人の部 2階級 63kg級 3位、70kg級 2位

第53回全国中学校柔道大会 団体の部 第5位

同 個人の部 2階級 63kg級 出場、70kg級 出場

(2) 藤枝明誠中学校

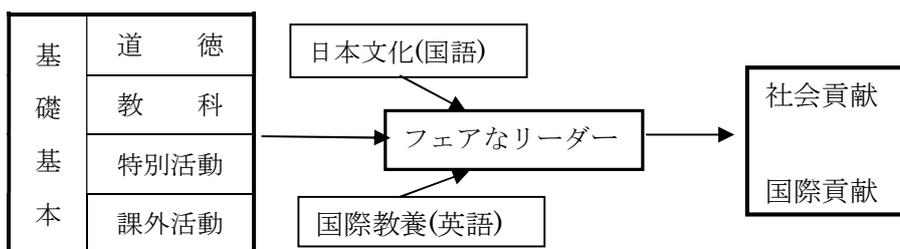
教える者と教えられる者との相互信頼に基づき、高度に知・徳・体のバランスのとれた人格を形成し、国際化、情報化のフロントランナーとして、社会貢献、国際貢献のできるフェアなリーダーを育成した。

リーダー像

- ・ 地・徳・体がバランスよく備わった人物

- ・ 視野が広く、先見性を持ち社会、組織、地域で一流のリーダーとなれる人物
- ・ 旧帝大や国公立大学医学部をはじめとする学ぶ環境の良い大学に進学できる人物

イメージ図



(2) 藤枝順心高等学校

令和4年度、生徒の進路選択と教科教育の最適化を図るため、美術造形デザイン科、調理栄養科を普通科に統合し専攻コースとして再編成した。具体的には4年度の高校1年生から、卒業後の進路の方向により、普通科「キャリア創造(進学)コース」と「地域共生(就職)コース」の2コース、主要な学習内容により、「特別進学」「総合進学」「美術デザイン」「情報ビジネス」「クックデザイン」の5スタイルに分かれて教育活動を展開している。4年度は普通科の単科、2コース、5スタイル体制による教育活動の初年度にあたる。

[1年]

普通科

- ・ キャリア創造コース

〈特別進学スタイル〉

国公立大学、難関私立大学、海外留学を目標としたカリキュラム。少人数を活かし、個々の進路希望に沿った学習指導とスマホ・タブレット、電子黒板を活用したアクティブラーニングで大学入学共通テストに対応する。

〈総合進学スタイル〉

国公立大学、私立大学を目指すカリキュラム。1年次から学習の達成度や学力を測る外部の試験に挑戦する。親切丁寧に学習を進め生徒の学力を伸ばす。

〈美術デザインスタイル〉

美術大学、絵画・デザイン専門学校への進学に対応できる学習をする。イラストレーター・フォトショップなど最先端のソフトを使って一人ひとりの技能を高める。

- ・ 地域共生コース

〈情報ビジネススタイル〉

情報化社会で働くスキルを身につけ、職場で即戦力となることを目指すカリキュラム。パソコン操作の基本を学ぶ。簿記では、経済の仕組みを学ぶ。たくさんの検定に

挑戦するため、パソコンを使った学習が充実している。

〈クックデザインスタイル〉

スイーツのパティシエ、フレンチやイタリアンのシェフを目指すカリキュラム。調理の基本、器具の使い方、レシピ作りなどを実習しながら身につける。食材選びや栄養・衛生管理など食に関する知識を学ぶ。

[2年、3年]

普通科

〈特別進学コース〉

英語に重点を置いた授業内容や学習体験で、世界にはばたく女性に必要なグローバルな視野を身につける。国公立大学、難関私立大学、海外の大学への進学を目指す。

〈総合進学コース〉

学習と部活動の両立をはかりながら、総合選抜型入試や学校推薦型入試を利用し、大学や専門学校への進学を目指す。

〈情報ビジネスコース〉

普通科目に加え、簿記を中心に経理関係の基礎を学ぶ。また、パソコンでの文書処理技術を習得し、日本商工会議所主催「簿記検定」や「各種パソコン検定」の取得を目指す。

〈クックラボコース〉

調理師免許取得を目的とせず、「食」について学び、西洋料理(製菓・製パン)に特化した実習を積むことで、調理に関する高度な技術と知識を身につけることを目指す。

美術造形デザイン科

普通科目に加え、絵画やデザイン、PC造形などの幅広い学習を通して、将来、実社会で通用する各専門分野でのスペシャリストを目指す。

調理栄養科

普通科目に加え、衛生法規や栄養学、調理理論・実習などの「食」にかんする専門科目を学習し、「調理師免許」(国家資格)の取得を目指す。

○ 進路(合格)の状況(現年生のみ)

4年制大学 42名(延べ)

静岡大学 1 香川大学 1 静岡県立大学 2 山梨県立大学 1

中央大学 1 順天堂大学 1 日本大学 1 常葉大学 4 神奈川大学 3

静岡福祉大学 5 京都芸術大学 3 山梨学院大学 3 など

短期大学 6名

静岡英和学院大学短大部 2 常葉大学短大部 2 など

専門学校 47 名

就 職 48 名

○ 部活動の実績

コーラス部

第 77 回関東合唱コンクール「銀賞」受賞

手工芸部

第 70 回静岡県高等学校美術・工芸展 優良賞・特選

サッカー部

全国高等学校総合体育大会 出場

全日本高校女子サッカー選手権全国大会 優勝

柔道部

全国高等学校総合体育大会 団体の部 出場

全国高等学校総合体育大会 個人の部 3 階級 出場 (うち 48 kg 級 第 5 位)

全国高等学校柔道選手権大会 団体の部 出場

全国高等学校柔道選手権大会 個人の部 48 kg 級優勝 57 kg 級第 5 位

ソフトボール部

第 70 回静岡県高等学校総合体育大会 ベスト 8

(4) 藤枝明誠高等学校

知・徳・体のバランスのとれた人間を育成し、次代のリーダーを育てることを教育の指針とした。

- ・ 「知育」では、国際化・情報化社会をリードする高い教養と感性を習得させる。
- ・ 「徳育」では、道徳心と正しい判断力を育成し、豊かな人間性と人格を養う。
- ・ 「体育」では、健やかな心身と夢やこころざし実現への強い精神力を培う。

ア 普通科

4 年生大学を目指す学科であり、2 年次から総合コース(文系)と理数コース(文系・理系)の編成になる。1 年次では週のうち 2 日は 7 時限、土曜日は隔週 3 時限の授業を行い、大学進学に向けた教科指導を行った。

【総合コース】

2～3 年次では、学習と部活動の両立を図らせつつ、週 5 日 6 時限、土曜日隔週 3 時限の授業を行い、大学入試に対応する学力を習得させるとともに、部活動においては全国大会等の各大会で活躍できる水準の実力を身につけさせることを目指した。

【理数コース】

2～3 年次では、上位の大学への進学を目指しながら部活動にも打ち込めるように、週 3 日 7 時限、土曜日隔週 3 時限の授業を行うとともに、文・理別のカリキュラムを

準備し、国公立、私立大学のいずれにも進学できる高い学力の習得を目指した。

イ 英数科

難関国公立大学・私立大学進学を目指す学科(内部進学する中高一貫生の1クラスを含む)であり、1年次より英数コースと国際教養コースの2コース編成としている。英数コースでは2年次から文系・理系の類型別のカリキュラムにより学習している。

【英数コース】

- ・3年間を通して週5日連日7時限、土曜日隔週3時限の授業により豊富な学習量を確保している。
- ・英語、数学を中心に密度が濃い授業や個別指導を行った。
- ・各学年に選抜クラスを1クラス設置し、より高い水準の学習指導を行うことで難関国公立・私立大学、医学系大学の入試に対応できる学力を習得させた。
- ・藤枝明誠中学校より内部進学する中高一貫クラスでは、6年という時間的な利点を生かし、ゆとりをもって高度な内容の学習を行い、難関国公立・私立大学、医学系大学入試に対応できる実力の養成を図った。

【国際教養コース】

グローバルな視点に立って行動できる人材の育成を目指し、3年間を通して外国人教員による授業やオンライン英会話の導入などにより高い英語力を習得させ、国際関係・外国語系大学への進学を目指している。

また、地域社会の課題分析、解決方法、事業構想の策定を通じ情報収集、分析、判断、表現等の能力を伸長させる「地域課題解決教育プログラム」を導入している。

○ 進路(合格)の状況(過年度生を含む)

国公立大学 96名

北海道大1 名古屋大1 旭川医科大1 浜松医科大1 茨城大2 千葉大1
横浜国立大1 富山大4 金沢大1 信州大1 静岡大14 愛知教育大2
三重大1 高知大1 高崎経済大4 東京都立大2 都留文科大4
静岡県立大17 名古屋市立大1 大阪公立大1 他35名

私立大学 522名

早稲田大2 明治大4 青山学院大4 立教大5 中央大13 法政大7
学習院大1 国学院大4 駒澤大7 専修大24 津田塾大1 東洋大3
日本大12 明治学院大5 東京理科大3 南山大1 関西大2
関西学院大5 同志社大3 立命館大14 他402名

短期大学 2名

愛知学院短大1 静岡英和学院短大1

大学校 1名

水産大学校1

専門学校 10名

国立音楽院 1 静岡医療学園 2 静岡市立看護 1 他 6 名

就 職 3 名

自衛隊 1 トヨタ自動車 1 富士宮通運 1

海外の大学 4 名

カモーンソン・カレッジ 1 トロント・ユニバーシティ 1 他 2 名

○ 部活動の実績

サッカー部

第 70 回静岡県高等学校総合体育大会 準優勝

第 101 回全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会 ベスト 8

高円宮杯 U-18 サッカープリンスリーグ 2022 東海 第 2 位

硬式野球部

第 104 回全国高等学校野球選手権大会 3 回戦

バスケットボール部

令和 4 年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第 3 位

第 75 回全国高等学校バスケットボール選手権大会 第 3 位

陸上部

第 75 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 1500m 個人第 1 5 位

第 73 回全国高等学校駅伝競走大会 第 2 2 位

柔道部

高校選手権静岡県大会 団体 3 回戦、個人戦 無差別級 ベスト 8

チアリーディング部

第 12 回全国中学校ダンスドリル冬季大会 CHEER 部門、Ms.SOLO 部門第 1 位

第 14 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 CHEER 部門 第 3 位

The 2023 World School Cheerleading Championships

INTERNATIONAL GAMEDAY 部門 第 1 位

NATION RANKING (VARSITY) 第 2 位

USA School & College Nationals 2023-全国チアリーディング&ダンス選手権大会 高校編成、中学校編成 Show Cheerleading 部門 Novice 出場

リベラルアーツ部

Tokyo Mini 2022@東京大学駒場キャンパス 個人賞 (Rookie 部門) 第 7 位

第 12 回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯全国大会出場

射撃同好会

第 77 回国民体育大会 いちご一会とちぎ国体

少年女子 10m エア・ライフル立射 (60 発) 競技 第 5 位

棋道部

第 52 回静岡県高等学校将棋選手権大会 男子団体戦 準優勝

(5) 藤枝順心高等学校附属幼稚園

平成 29 年度から、これまでの 3 歳児から 5 歳児保育に、満 3 歳児保育を加え教育活動を展開している。

「健康」 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を送ろうとする態度を育てた。

- ・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、園外保育で歩いたりしたことで、体力向上を図った。
- ・幼児の遊びに配慮した環境整備を進めた。
- ・他の幼児とのかかわりの中で、安全な生活に必要な習慣を身につけさせた。

「人間関係」 他の人々と親しみを持って生活する中、自立心を育て、人とのかかわり合う力を養った。

- ・幼児期にふさわしい道德性の芽生えを培う指導を充実した。
- ・一人一人を生かした集団を作りながら、人とのかかわる力を育てた。
- ・幼児が「自分が大切にされている」と実感できるような接し方に心がけ、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを養った。
- ・様々な人々と交流し人とのかかわる楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにした。

「言葉」 自分の思いを言葉で表現しようとしたり、相手の話す言葉を聞こうとしたりする態度を育て、言葉に対する感覚や言葉による表現力を養った。

- ・ゆとりを持ち幼児の話を聞くことにより、言葉で伝える喜びを味わえるようにした。
- ・絵本等を通して文字に触れる機会を設け、文字に対する興味や関心を持つようにした。

「表現」 感じたことや考えたことを様々な方法で表現することにより、豊かな感性や表現力を養った。

- ・描いたり歌ったりすることを通して、豊かな感性と表現力を育てた。
- ・幼児がいろいろな方法で表現することを楽しめるように支援した。

「環境」 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ち、知ろうとしたりかかわりを深めたりしようとする態度を養った。

- ・身近な動植物に親しみを持って接し、命の尊さに気づき、いたわったり大切にしたりしようとする心を育てた。
- ・周囲の事象に接する幼児の感動や驚きに保育者が共感し、自然への興味や関心を育てた。

◎ 預かり保育事業

保護者（母親）が働くなどの理由で、家庭の保育が出来ない園児を、保育時間の前後や長期休業中に保育した。平成 30 年度から 2 歳児を対象としたプレ保育(預かり保育)活動を展開している。同年度（7 月）から預かり保育専用棟(鉄骨造 2F 建 618 m²)

を設けて事業実施。

◎ 体操教室の開設

平成 29 年 4 月から、明誠高校スポーツクラブの協力を得て、保育時間帯の体操教室を開設するとともに、保育時間外の「げんきっこクラブ」も合わせ実施し園児の体力の向上に努めている。31 年 4 月度から保育時間外の「サッカー教室」を追加開設した。

◎ 英語教室の開設

平成 29 年 4 月から、柴田マリアン講師(順心中学校英会話講師)の協力を得て、保育時間内の英語教室を開設、あわせて保育時間外にも、希望者を対象として英語教室開催、英語によることば遊びなどを通じて、英語に慣れ親しむことにより小学校英語教育に繋げるとともに、幼児にとって英語をより一層身近なものとしている。